

進化するめくもり。



かんぽ生命



かんぽ生命 統合報告書

ディスクロージャー誌 本編

2026

2025.4.1 — 2026.3.31



CONTENTS

3 経営理念、かんぽ生命が届ける価値、パーパス

5 **社員の声特集** 「経営理念を胸に、日々の現場で。」— 守りたい人生の数だけ、社員の想いがある —

7 トップメッセージ



価値創造ストーリー

29 価値創造の軌跡

31 価値創造の源

33 価値創造プロセス

35 マテリアリティに対応する主な取り組み および目標

マネジメントメッセージ

11 財務・資本政策

17 中期経営計画の振り返り

19 新しい中期経営計画の概要

25 社外取締役座談会



2025年度における価値創造のための事業活動

37 保険サービスの更なる拡充

41 資産運用の深化・進化

47 収益源の多様化

51 財務ハイライト

53 **特集** かんぽ経済研究所の設置 — 主席研究員として中空氏を招聘 —

編集方針

かんぽ生命は、ステークホルダーの皆さまに、当社の経営基盤や成長戦略・ガバナンス等について、財務情報と非財務情報の双方から総合的かつ分かりやすくお伝えすることを目的として本誌を制作しています。本誌では、当社が直面する現状や課題を明確に示すとともに、2026年5月に公表した新しい中期経営計画を通じて、目指す姿や中長期的なビジョンを具体的に説明しています。あわせて、財務・資本政策や各成長戦略に関するマネジメントの考え方についても明示し、当社の持続的な価値創造に向けた取り組みや経営方針への理解の促進を目指しています。

なお、本誌の編集に当たっては、国際統合報告評議会(IIRC)の「国際統合報告フレームワーク」および経済産業省の「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」を参考にしています。また、本誌は保険業法第111条に基づくディスクロージャー資料としても発行しています。



対象期間：2025年度(2025年4月1日～2026年3月31日)。2026年4月以降の活動内容を含みます。

(注1) 本誌は、一般公衆への情報提供を目的とするものであり、当社またはその子会社(以下「当社グループ」)の株式その他の有価証券の勧誘を構成するものではありません。また、本誌には、当社グループの現状に加え、見通し・目標などの将来に関する記述がなされています。これらは、本誌の制作時点において入手可能な情報、予測や作成時点における仮定に基づいた当社の判断などによって記述されたものです。そのため、今後、経済情勢や景気動向、法令規制の変化、大規模災害の発生、保有資産等の価値変動、風評・風説など、その他の幅広いリスク・要因の影響を受け、実際の経営成績等が本誌に記載された内容と異なる可能性があることにご留意ください。

(注2) 本誌内の数値およびパーセント表示は、特別な表示のある場合を除き、2026年3月31日現在のものです。

(注3) 本誌は、個別に注記している場合および資料編の業績データ「6 保険会社及びその子会社等の状況」を除き、当社(単体)について記載しています。

(注4) 当社は、2007年9月以前にご加入いただいた簡易生命保険契約について、その契約の権利および義務を承継した「独立行政法人郵便貯金簡易生命保険管理・郵便局ネットワーク支援機構」(以下「郵政管理・支援機構」)から、管理業務を受託しています。なお、「郵政管理・支援機構」は、2019年4月1日に「独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構」から機構名称を変更しています。

写真提供：日本郵政株式会社(JP CAST)(千屋郵便局)

安心を支える強靱な経営基盤

人的資本経営

55 人的資本経営

サステナビリティ

63 サステナビリティ

65 マテリアリティ(重要課題)特定プロセス

67 気候変動・生物多様性保全への取り組み

72 人権尊重への取り組み

73 健康増進・地域と社会の発展



ガバナンス

75 コーポレートガバナンス

85 お客さまとの対話

87 株主・投資家との対話

89 リスク管理体制

91 コンプライアンス(法令等の遵守)の徹底

94 営業社員・募集代理店への教育

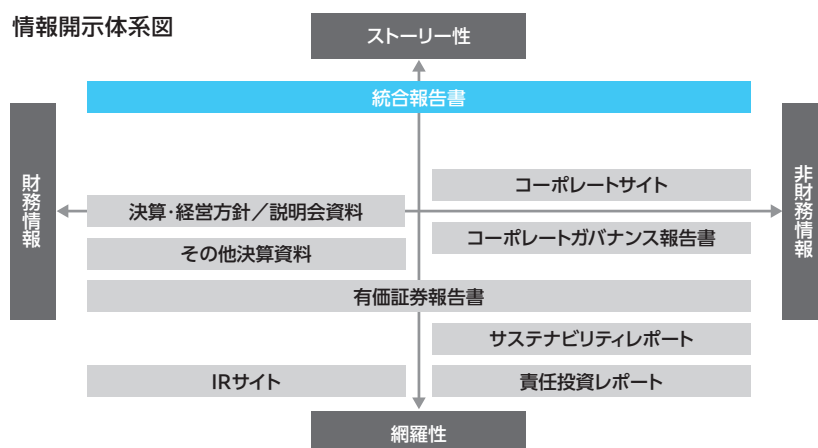
かんぽ生命について

95 日本郵政グループにおける位置づけ

97 主要な財務・非財務データ一覧

統合報告書の位置づけ

情報開示体系図



統合報告書

<https://www.jp-life.japanpost.jp/IR/disclosure/index.html>

統合報告書は、「本編(本冊子)」
「資料編」で構成しており、「資料
編」は当社ホームページにて公開
しています。



財務情報 (投資家向け情報サイト)

<https://www.jp-life.japanpost.jp/IR/index.html>



非財務情報 (サステナビリティサイト)

<https://www.jp-life.japanpost.jp/aboutus/sustainability/index.html>



経営理念

いつでもそばにいる。どこにいても支える。
すべての人生を、守り続けたい。

かんぽ生命が届ける価値

豊かで安定した
生活の実現

高度な
資産運用と社会
課題の解決

新たな
安心の創造

かんぽ生命の社会的使命(パーパス)

お客さまから信頼され、
選ばれ続けることで、
お客さまの人生を保険の力でお守りする



お客さま一人ひとりに寄り添った「確実・簡単・迅速な手続き」の更なる拡充を目指して

私はお客さま体験価値向上のために、デジタルの利便性を活かし「確実・簡単・迅速な手続き」の更なる拡充に取り組んでいます。

保険という「安心」をお届けする上で本当に大切なのは、手続きの効率化だけではなく、お客さまに寄り添う「あたたかみのある手続き」だと考えています。

今後もお客さま一人ひとりに寄り添った手続きを通して「かんぽ生命に入っていてよかった」と感じていただけるよう、情熱を持って取り組んでいきます。

事務改革推進部 齋藤 康平



自分の仕事が社会の役に立っているという確信

「自分の仕事が社会の役に立っているという確信」これはある方から教わった言葉であり、私がかんぽ生命で働く意義そのものです。いつでも社員の向こうにはお客さまがいて、その先には社会があります。そのことを決して忘れることなく、前向きで活気のあるチームづくりを、支店長としての最も大切な役割と考え、行動しています。

こうした日々の積み重ねによって、長く愛され、社会にとって「当たり前」の存在となるかんぽ生命を創り、その一員としてあり続けたいと考えています。

川崎支店 小野寺 久美子



経営理念を胸に、日々の現場で。 —守りたい人生の数だけ、社員の想いがある—

私たちは、お客さまそれぞれの人生に寄り添い、
そばで支え続ける存在でありたいと願い、日々の業務に取り組んでいます。

このページでは、経営理念に込めた想いを胸に、
社員一人ひとりが日ごろから大切にしていることや実践していることをご紹介します。

「保険に入っていてよかった」と 思っただけのご提案を目指して

私はお客さまが「保険に入っていてよかった、助かった」と感じていただけるよう、一人ひとりの想いや将来設計に耳を傾け、その方に合った保障を提案することを心がけています。また、定期的なアフターフォローを通じて、お客さまに寄り添い続けることも大切にしており、信頼関係を築くために丁寧な対応と迅速な行動を意識しています。

現状に満足することなく知識を磨き続け、お客さまにより一層安心していただけるよう取り組んでいます。

春日井支店 津島郵便局かんぽサービス部 宮崎 望



お客さまの「守りたい」人生に 寄り添う商品開発を目指して

私は商品開発担当として、市場環境やお客さまのニーズを捉えながら、新商品や新制度の企画・開発を推進しています。お客さまに安心して選んでいただけるよう、実際にご案内する場面をイメージしながら、様々な調査や分析を基に分かりやすく納得感のある商品設計を行っています。保険を通じて、お客さま一人ひとりの「守りたい」人生に寄り添い安心をお届けできるよう、シンプルで分かりやすい保険商品の開発に努めています。

商品開発部 藤村 美沙



お客さまに頼られる コンサルタントであり続けるために

私はコンサルタントとして、お客さまのお役に立つ情報提供やご提案を大切にしながら、日々の業務に取り組んでいます。

お客さま一人ひとりのお話に丁寧に耳を傾け、その方にとってためになる情報を分かりやすく正確にお伝えすることが、コンサルタントとしての使命だと考えています。これからもお客さまに寄り添い、「ありがとう」「頼りにしているよ」と言ってもらえるよう、一人でも多くのお客さまにご提案を続けていきます。

松山支店
松山中央郵便局かんぽサービス部 山之内 佑介



「まず相談してみよう」と 思っただけの存在であるために

私は法人営業部の一員として、「お客さまに安心をお届けし続けること」を意識して日々の業務に取り組んでいます。

かんぽ生命という企業ブランドと、長年培われてきた信頼を大切に、お客さま一人ひとりの想いや将来像を丁寧にお聞きすることを心がけています。

お困りごとがある時だけでなく、日常の中でも「まず相談してみよう」と私の顔を思い浮かべていただけるような、身近で頼りになる存在を目指し、これからも取り組んでいます。

長野支店法人営業部 丸田 智治



「今一番お困りのこと」に向き合い、 心を通わせる対応を目指して

私はオペレーターとして「お客さまが今一番お困りのことは何だろう」と考えながら、お電話を通じて心を通わせることを大切にしています。お客さま一人ひとりに合わせた対応を心がけ、少しでもお気持ちが軽くなるようなご案内ができるよう日々努めています。

通話の最後にいただく「ありがとう」の一言は、私にとって何よりの原動力です。これからも、お客さまの笑顔につながる対応を大切にしていきます。

福岡カスタマーサービスセンター
お客さまサービスユニット 宮崎 成美



営業現場を支え、 お客さまの笑顔につながるサービスを

私たちテールサービス統括部の社員は、かんぽサービス部のコンサルタントと一体となって、お客さまの笑顔につながるサービスをお届けすることを目指し、日々の業務に取り組んでいます。

私は以前コンサルタントとして様々なお客さまと直接お会いしてきました。その中で培った経験を大切に、コンサルタントの先にお客さまに喜んでいただくことを第一に考えながら、今後も営業現場をしっかり支えていきます。

横浜支店
リテールサービス統括部 津藤 香菜



お客さまの大切な資産を 確実に守り抜くために

私はお客さまからお預かりしている大切な資産の重みを常に意識し、将来にわたって確実にお守りできるよう日々の業務に取り組んでいます。変化の激しい市場環境においても、適切な運用と徹底したリスク管理を行い、お預かりした資産を確実に守り抜くことが、資産運用部門の重要な使命だと考えています。

その一員として、一つひとつの実務を丁寧かつ確実に遂行し、お客さまの未来の安心につながる資産運用に貢献していきます。

運用企画部 鎮目 奏

